

入居企業紹介 その93

SIC に新しく入居された企業をご紹介します。

SIC-3 313

電子通信株式会社

「技術で勝負！」



【代表プロフィール】

電子通信株式会社
代表取締役社長 池田 正則（いけだ まさのり）55歳
相模原市緑区在住。高知県生まれ。
父親の転勤に伴い小・中・高を大阪、神戸、茨城で過ごす。
趣味はアマチュア無線とモータースポーツを見ること。
週末は仕事の関係もありサーキット場へ出向くことが多いそうです。

【事業紹介】

主な事業はTPMS（タイヤ空気圧監視システム：Tire Pressure Monitoring System）やモータースポーツ用無線システムなどの業務用無線機器の設計・開発・製造。

最近、特に開発に力を入れているTPMSはタイヤの空気圧や温度をタイヤ内に取り付けたセンサーで測定し、その情報を無線で車体側の受信機に送り、ドライバーに異常を知らせるシステム。開発当初は、バーストなどの危険回避のためのシステムだったが、タイヤの空気圧を適正に保つことが燃費向

上に効果があることからCO₂削減につながる環境配慮製品として注目されている。

米国ではトレッド法により、2007年より法規化され、新車への搭載が100%義務付けられている。また、EUでは2012年12月から、韓国では2013年1月から法規化が決定している。更に、中国や日本でも法規化が検討されており、今まさに世界中が注目しているシステムです。国による周波数の違いや車種によるタイヤの構造の違いを把握しながら開発を進め、大型車用は既に(株)ブリジストンのトラックタイヤ用として海外で販売されている。乗用車用は、試作開発が終了、耐久試験が始まっている。更に小型でタイヤの使用履歴を蓄積できる機能を持つ次世代TPMSの開発にも取り組んでいる。

ソーラーカーのFIA公認耐久レースではオリンピッククラス参戦の名古屋工業大学を、国内最高峰の自動車レース、SuperGTではパシフィックレーシングチーム（マシン名：PACIFIC NAC イカ娘 フェラーリ）をデジタル無線システム技術でサポートをしている。レースのある日は、富士スピードウェイや鈴鹿サーキットなどへ出向くそうです。

※写真

【これからの夢または目標は？】

TPMSの量産が出来る製造拠点を相模原市に置き、そして、TPMS技術のトップブランドを目指す。更に無線サポートしている各チームが、国内最高峰の各レースで優勝する事だそうです。



©GALM

※ PACIFIC NAC イカ娘 フェラーリ

電子通信株式会社
相模原市中央区上溝1880番-2 SIC-3 313
TEL: 042-707-0074 FAX: 042-707-0044
URL: <http://www.denshitsuushin.co.jp/>
Mail: dentsu@denshitsuushin.co.jp



入居企業の皆様へご案内

9月の販売予定日 in SIC-1・2

かわせみの家

<http://kawaseminoie.jimdo.com/>



13日(木)

手作りクッキーや
手作りケーキを販売します

なくなり次第終了です。

営業時間 11:30 ~ 13:00

かわせみの家では、毎週火曜日と金曜日に

お弁当の配達をしています。(450円 大盛り500円)

ご注文は、当日の朝10時まで受付しております。

TEL: 042-783-1333

カリメーラ

<http://e-sagami.jp/karime-ra>



NATURAL STYLE BAKERY

7日(金)
14日(金)
21日(金)
28日(金)

自家製天然酵母パンを販売します

なくなり次第終了です。

営業時間 11:45 ~ 13:00

ご案内

女性力発揮セミナー

女性リーダーとなるための基本スキルの

習得を目指した、セミナーを開催します。

自分の存在を発揮するためのスキルを身につける

■ミドルコース 受講料: 12,000円(全4回)

- 11月1日 全社的視点を学ぶ
- 11月15日 発想力を磨く(1)
- 11月29日 発想力を磨く(2)
- 12月13日 発想力を磨く(3)
- 12月13日 お食事会(実費) セミナー終了後

〈お申込み方法〉

HPよりお申し込みください。

〈お問合せ先〉

担当 古賀(内線 2408) または SIC スタッフまで



SIC 経営相談を実施しています

＊いつでもお申込み、お問い合わせください＊

ーこんな相談が寄せられていますー

- どのように事業継承するか迷っている
- 新商品を開発したので特許を取得したい
- 新商品のパッケージを一新したい
- 人事労務関係
- 株式譲渡について
- 資金繰り、収支計画について などなど・・・

毎週火曜日午後、経営相談を行っています。

＊お申込みいただきました時点で、相談日を調整させていただきます。

＊1案件につき、1時間程度とさせていただきます。

＊ご相談に応じて専門家をご紹介します。

＊ご相談内容の機密は保持いたします。

費用無料!

2012年9月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理: 8月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成

SICのWEBサイトでもご覧頂けます。



「カリメーラ」さん出店日

「かわせみの家」さん出店日

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29 SIC-2 害虫防除作業	30	31	1 YB 経営塾
2	3 会議室 11 月分 予約受付開始	4 SIC-1 ガラス清掃 人づくりリーダー塾	5	6	7 人づくりバスツアー SIC-1 フィルター清掃	8 SIC-1 床面定期清掃 ＊SIC-2 エレベーター点検
9	10 SIC-3 フィルター清掃	11 ＊＊SIC-1 エレベーター点検	12 SIC-1.3 消防設備点検	13 SIC-2 消防設備点検	14	15
16	17 敬老の日	18 SIC-2 空気環境測定	19 人づくりリーダー塾	20 SIC-3 設備巡回点検	21	22 秋分の日
23 30	24 SIC-2 フィルター清掃	25	26	27 ＊＊＊SIC-3 エレベーター点検	28	29 YB 経営塾

＊ エレベーター点検
＊＊ エレベーター点検
＊＊＊ エレベーター点検

9:30~11:30の間はご利用になれません。

9:30~11:00の間はご利用になれません。

13:00~15:00の間はご利用になれません。

お問い合わせは 生井(内線 1116)まで

キーワードは「常に考える！」

過日のことですが、ある勉強会で、「良い会社」になるための要件はどんなことなのかを、参加者で対話をする機会がありました。優良企業の事例として、「DOIT!」(*1) DVDを鑑賞しました。

営業のノルマ無し。残業は一切禁止（残業すると罰金）。定年は70歳。育児休業3年。年間の休暇は有給休暇を除いても140日。しかも全員が正社員。

この会社は、岐阜県にある未来工業株式会社。名商2部上場。電気設備資材、給排水設備およびガス設備資材の製造販売を行う会社です。業績は、平成24年3月期（連結）・年商28,412百万、当期純利益1,995百万。売上高営業利益率9.4%、自己資本比率77.3%。（*2）素晴らしい業績です。2011年1月に、テレビ東京・カンブリア宮殿（*3）で放送されて以降、テレビや雑誌など、多様な取り上げられ方をされていますので、ご存知の方もたくさんいらっしゃると思います。創業者の山田昭男さんの個性豊かなキャラクターは、インパクト抜群です。

未来工業の事業と製品は、基本的には住宅関連市場の中の電気設備資材市場。そして、具体的な顧客は、電気設備資材を使用する電気工事業の職人さんです。競合は、パナソニック電工や古川電工などの大企業。ただ単に製品を作り、大手の代理店任せで、販売したのでは、価格競争に巻き込まれ敗北する。そこで、大手代理店に頼らない販売戦略を考え、営業マンは、直接工事現場に入り込む。職人さんの直接的な現場ニーズを聞き込み、職人さんの悩みを解決する製品を開発する。ローテクな商品ではあるが、職人さんが使いやすい「一工夫」を入れた製品を開発し、提供する。結果として、特許庁の意匠登録件数上位20社（平成22年）に、未来工業が20位で登場する。パナソニック、ソニーなど大手企業と同じレベルの件数。これらの工夫から、建築物の電灯スイッチを収める電機設備「スイッチボックス」は国内シェア8割を獲得した。

創業者で、現相談役の山田昭男さんは、「『戦略』の基は、差別化である。」「経営者は、『戦術』より、『戦略』に重きを置くべき。」「経営も含め、ものづくりの差

別化、販売方法論の差別化、さらには社員を引っ張るリーダーシップまで、すべてを差別化しなければならない。」「普遍的に受け入れられる新製品をつくるには、半歩先の「モノ」をつくる視点と工夫が必要。」「それぞれの部署、全社が努力し、新しい道を作っていく必要がある。」「ライバルがやっていないネタを付け加える工夫を常に考え、実行する。」「差別化を図るには、常に考える習慣をつけること。新製品や仕事の効率化について考え続けることが大事。」「差別化すれば、中小企業だって大企業に勝てる」

中小企業が、市場の中で勝ち残り、成長するための一つの戦略として、「差別化」がある。扱っている商品は「とびぬけて先端的なもの」でなくても、「常に考える」ことで、工夫を続け、顧客にとって、使いやすい、便利な製品を提供する。

そして、もう一つ大切なこと。「常に考える！」は、「考える」という命令・指示ではなく、「考えよう」という提案・呼びかけでもない。誰かに言われたからではなく、自らの意志で、自発的に考えること。まさに、自立した社員の育成が肝。「差別化」を作るのは、社員である。そして、この「常に考える！」社員が、まさに企業の全体戦略の中での「差別化」でもある。・・・



(注)

- 「DOIT!」は、働く喜びや意欲を高めるCS・ESが学べるビデオ・DVDです。
株式会社ブロックス <http://www.doit-fun.jp/>
- 未来工業株式会社 <http://www.mirai.co.jp/>
- テレビ東京「カンブリア宮殿」村上龍 2011/1/20・バックナンバーがあります。
<http://www.tv-tokyo.co.jp/cambria/backnumber/20110120.html>
- 参考文献
(ア)「日本でいちばん社員のやる気がある会社」山田昭男 中経の文庫 2010/2
(イ)「ホウレンソウ禁止で1日7時間15分しか働かないから仕事が面白くなる」
山田昭男 東洋経済新報社 2012/8

私の好きな漢字

【株式会社さがみはら産業創造センター 山野邊 奈生子】

このコラムでは、SIC入居企業スタッフの皆様を紹介していますが、今月号からは、まだ「SICかわらばん」に登場していないSICスタッフをインタビューを交えながらご紹介してまいります。今月は、山野邊さんです。

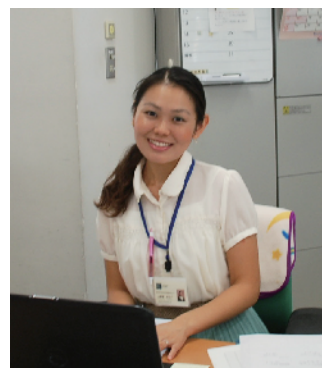
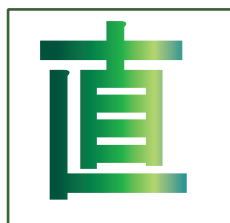
山野邊さんは、SIC-1.2.3の施設・デスク10に関わる業務を担当しています。

具体的には、見学に来られたお客様に施設をご案内したり、ご入居の面談をしています。また契約書等諸書類を作成し、ご契約締結に携わっています。

お客様に安心してご入居頂き、気持ちよく施設をお使いいただけるよう努めています。

好きな漢字は『直』。

好きというか、自分自身を漢字にすると、良い意味でも悪い意味でも「直」な気がします。仕事に対しても、家族に対しても、常に自分の「自然」で接しています。家族からは「単純」とか「わかりやすい」などよく言われますが・・・あまり物事を複雑に考えると、視野が狭くなったり、偏ったり余計にわからなくなります。どんな事にでも、真っ直ぐに等身大の自分で全力投球していきたいと話す山野邊さんです。



SIC-1の事務室で仕事をしています。
生井さんとはいいコンビを組んでいます。

証言で綴る SIC の歴史

～創業の一時期に参加して その2～

野村会計事務所
代表 野村 隆

SIC設立当時から監査役をされていた野村隆氏がこの6月退任されました。前号（8月号）につづき、これまでの13年間で振り返り、ご寄稿いただきました後編です。

バブル期までは新規創業は活発で、開業相談は多く、会社法改正前で株式会社にするか有限会社にするか、資本金をどう調達するか、役員をどうするか等と事業計画の策定に忙しく動きました。創業者が多い反面、倒産企業も多く、月1800件位の状況でした。

経済成長率の低下につれて、創業者数は低調となり、特に製造業においては居住地域での工場操業が制限されたため、創業・拡張が難しくなっていました。新規の事業内容はハードからソフトへ変化してきて、学生によるベンチャー企業の設立やニッチ産業に対する創業が持て囃され、それを支援する組織が多数作られてきました。

事業計画を持っている企業家を支援するベンチャーキャピタルも輩出しました。企業の資金調達は金融機関からの借入とする間接金融から株式発行・社債発行による直接金融が取り上げられました。中小企業大学校で財務管理のゼミを担当していた10年間にも卒論テーマに直接金融・間接金融の得失の研究が増えました。

このような経済背景の中、SICは土地・建物を相模原市と国の出資で取得して借入金なしにスタートしたのですが、運転資金がありません。初代社長は運転資金のために増資をして市内の団体企業に出資を求めました。

市と国以外の株主はこの時に出資した企業・団体で譲渡により若干の異動がある程度です。株主は創業の意思を引き継いでいます。

SICは第三セクターとして、全国初めて配当を実施しました。これを決定する取締役会では内部留保を主張する役員と、配当して第三セクターの活性化を示すべきであるという役員に分かれて議論をしました。配当は2回だけで終わっています。SICの役員会は年齢経験に関係なく自由な発言が出来ることが優れている特色です。

現状の経済環境は停滞から脱せず、今年上半年の新規上場は18社で年間でも37社の見込みと報道です。

厳しい時こそ成長の機会があるものと思っています。摩擦が無ければ成長はありません。「初心忘るゝべからず」を忘れずに今後数十年・数百年、株式会社さがみはら産業創造センターの発展を祈ります。



今年も、暑い中、ジュニアントレの最終日を見守ってくださいました。

山本のめし屋レポートふたたび

萬金ギョウザ

「萬金ギョウザ」に久しぶりに行ってきました。

私が学生時代に通った餃子専門店です。その昔は銭湯の隣に店を構えていたので、ここの餃子ライスをお腹いっぱい食べた後、お風呂に入るのがとても楽しみでした。ここの餃子を食えると三十数年前が懐かしくよみがえります。

一番のお奨めは「焼き餃子」です。でも、皆さんが思い浮かべる「焼き餃子」とはチョット違います。

餃子の皮は肉厚、大きさも普通の餃子の2倍ぐらい、俵のような形をしています。

また、焼き餃子というより揚げ餃子というほうがぴったりきます。

全国的には「ホワイト餃子」と呼ばれているようです。

餃子10個で420円です。

おいしくて、ボリューム満点、クセになる美味しさです。

場所は小田急相模原駅徒歩約7分。



萬金ギョウザ 10個 ¥420



水ギョウザ
8個 ¥420



バンバンジーサラダ
¥483

■住所 〒228-0812 相模原市相南 4-1-7 ■Tel 042-746-5855 ■営業時間 AM11:30～PM10:00 ■定休日 水曜日

編集後記

8月が終わったものの、今年は例年になく残暑が厳しいようです。橋本駅からSICまでの道のりには、まだ汗拭きタオルがかかせません。しかし、虫の音も聞かれるようになり秋の気配も少しずつ感じられるようになりました。空も少しずつ秋めいたように感じます。今年の夏バテはおなかの調子が悪くなる人が多いと聞きました。みなさんお気を付けください。横山

★ご意見・ご感想をお待ちしています。（株）さがみはら産業創造センター（SIC） 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21
電話：042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ：<http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp